

ふりがな 氏 名	とおやま よしはる 遠山 佳治		職 名	教授 (短期大学部部長<平成22年度~>、 保育学科長<平成20年度~>、短期大学 基準協会:ALO<平成17年度~>、評価 員<平成24~26、平成30年度~>、愛知 県現任保育士運営協議会理事、常務理 事、副会長<平成27年度~、平成31年度 ~、令和3年度~>)
取得学位	博士(歴史学)	学会での受賞歴		
主な担当科目	歴史の視点、歴史に学ぶ、保育者養成講座			
所属学会	日本歴史学会、史学会、地方史研究協議会、信濃史学会、日本風俗史学会(評議員:平成19年4月~平成25年3月、理事:平成15年4月~平成19年3月・平成25年4月~、中部支部役員:平成7年4月~、中部支部長:平成25年4月~)、大学教育学会、高等教育質保証学会			

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
幼稚園教諭・保育士・保育教諭を目指す学生の入門書、副教材『未来を見据えた保育者を目指して』刊行に執筆、協力	平成30年 2月28日	幼稚園教諭・保育士・保育教諭を目指す学生の入門書、副教材の刊行に関して、発行所代表の部長兼学科長として「はじめに」「おわりに」および「環境」を担当。
名古屋女子大学総合科学研究所機関研究「大学における効果的な授業法の研究7 学生が主体的に学修する力を身につけるための教育方法の開発」の研究代表として活動	平成27年 4月~平成 30年3月	平成27年度から3年間行われる本学の総合科学研究所機関研究の研究代表を勤めている。『総合科学研究』10~12号、「総合科学研究所だより」21~25号に、中間報告を、『総合科学研究』13号に結果報告を記した。
名古屋女子大学総合科学研究所機関研究「大学における効果的な授業法の研究8 本学におけるアクティブ・ラーニングの開発」の研究者として活動	平成30年 4月~令和 2年3月	平成30年度から3年間行われる本学の総合科学研究所機関研究の研究者を勤めている。

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著 書	保育リーダー養成研修ガイドブック	共	平成30年 1月	一般社団法人愛知県現 任保育士研修運営協議 会/協力:中央法規出 版(株) / 総頁数276	文部科学省委託「保育分野にお ける中核的専門人材育成」事業 (平成28~30年度)の集大成、保 育リーダー養成の研修プログラ ムの解説書。全体の編集および P1-31「第1章 保育リーダー(保 育分野における中核的専門人 材)とは」を執筆。
	未来を見据えた保育者を目指して	共	平成30年 2月28日	名古屋女子大学短期大 学部保育学科/総頁数 273	保育者を目指すための入門書。 担当は全体の編集および第4部 「環境:様々な環境に関わり、生 活に取り入れていこうとする力を

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
	愛知県史 通史編 近世2	共	平成31年3月29日	愛知県 / 総頁数728	養う」、はじめに・おわりに(P0、159-165、P271)。  平成6年に着手した愛知県史編纂事業の成果。江戸時代後期から明治4年までの尾張・三河の近世社会を描いたもの。第7章「維新期の様相」の第3節「変革期の社会」を執筆(P666-675)。
論文	近代名古屋における児童演劇教育についての一考察～名古屋女学校創立者越原和を中心に	単	平成29年5月31日	総合科学研究、11号	p.84-91、大正・昭和初期の演劇教育の概略を説明した上で、東海地方で先駆的活動を展開した越原和の演劇思想の土壌を探究。
	大学における効果的な授業法7—『学士力』育成のための教育方針の検討	共	平成29年5月31日	総合科学研究、11号	p.121-129、総合科学研究所機関研究(平成27～29年度)のアンケート調査分析。白井靖敏・遠山佳治(代表)・渋谷寿・原田妙子・羽澄直子・服部幹雄・歌川光一・辻和良・野内友規・杉原中樹・吉川直志・佐々木基裕・三宅元子。
	東海地域のおやつ文化を教材とした保育内容「環境」の一考察—ところてん、鬼まんじゅう、栗きんとん、駄菓子	単	平成30年3月10日	名古屋女子大学紀要(人文・社会編)、64号	p.285-291。地域色のあるおやつ文化に着目し、幼稚園教育活動に取り入れる実践活動について考察を加えたもの。
	伝統行事を教材とした保育内容「環境」指導法の一考察	共	平成30年3月10日	名古屋女子大学紀要(人文・社会編)、64号	p.293-304。遠山佳治・平井孔仁子。伝統的行事(年中行事)より、こどもの日(端午の節句)、七夕、お月見、鏡開きを選び、幼児の育ちを考える具体的な指導法の事例を検討。
	東海地域における肉料理・肉食文化の歴史的展開の一考察	単	平成31年3月10日	名古屋女子大学紀要(人文・社会編)、65号	p.335-347。東海地域における食肉のブランド展開、名古屋めしの原点「どて煮」の誕生、鶏肉文化の高級化と大衆化などの視点で検討したもの。
	大学における効果的な授業法7—学生が主体的に学修する力を身につけるための教育方法の開発	共	令和元年5月31日	総合科学研究、13号	p.2-6・47、単著で担当(はじめに、第1章『主体的な学び』)のための教育をめぐる全国的動向、

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
	東海地域の産業から見た菓子文化の歴史民俗学的考察	単	令和2年 3月20日	和菓子(虎屋文庫研究紀要)、27号	おわりに)。総合科学研究所機関研究(平成27～29年度)成果。市村由貴・佐々木基裕・渋谷寿・白井靖敏・杉原央樹・竹内正裕・遠山佳治(代表)・豊永洵子・羽澄直子・服部幹雄・原田妙子・野内友規・山田勝洋・三宅元子・吉川直志。 p.97-113、東海地域の菓子文化を、各産業(農業・漁業・醸造業・観光業等)を視点として体系的にまとめ、東海地域の特徴を分析したもの。
	愛知県における女子高等教育の戦前から戦後への継承—女子高等女学校・女子専門学校から短期大学へ—名古屋女学院短期大学・名古屋女子大学短期大学部を中心に	単	令和2年 5月31日	総合科学研究、13号	p.4-8、名古屋女学院短期大学・名古屋女子大学短期大学部を中心として、戦後から戦後にかけて愛知県の女子高等教育の変遷を概観したもの。
	東海地域における魚介食文化の歴史的展開の一考察	単	令和3年3 月10日	名古屋女子大学紀要(人文・社会編)、67号	p.193-204。東海地域において漁獲される魚介類と、それを駆使した魚介文化(ひつまぶし、ちくわなど)について、歴史的な展開の視点で検討したもの。
	東海地域の農産物(野菜類・穀類)からみた食文化の歴史的展開の一考察	単	令和4年3 月10日	名古屋女子大学紀要(人文・社会編)、68号	p.165-178。東海地域において生産される野菜類・穀類と、それを使用した食文化(漬物、ケチャップなど)について、歴史的な展開の視点で検討したもの。
学会発表	風俗史にみる宗教史・信仰史分野の現状そして課題・展望(口頭発表)	単	令和4年2 月11日	第61回日本風俗史学会大会(オンライン開催)	日本風俗史学会設立60周年特別企画リレートーク「新時代の風俗史研究」として発表したもの。要旨は『風俗史学』で掲載予定。
その他 (報告書)	(資料紹介)名古屋高等女学校の学校日誌—昭和初期における名古屋高等女学校校友会『會誌・名高女学園だよ里』より	共	平成29年 5月31日	総合科学研究、11号	p.4-55。総合科学研究所機関研究(平成25～27年度)成果。
	第1章 保育分野における中核的専門人材養成～シラバス作成から	単	平成30年 2月	「保育分野における中核的専門人材養成プログラ	p.2-37。統括委員責任者として編集も担当。文部科学省委託

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
	普及活動(テキスト作成とWeb配信) へ  本学園教員への聞き取り調査につ いて(報告1)  本学園教員への聞き取り調査につ いて(報告2)  本学園教員への聞き取り調査につ いて(報告3)	共  共  共	平成 30 年 5 月 31 日  令和元年 5 月 31 日  令和 2 年 5 月 31 日	△開発 『成果報告書』  総合科学研究、12 号  総合科学研究、13 号  総合科学研究、14 号	「専修学校による地域産業中核 的人材養成事業(旧成長分野等 における中核的専門人材養成 等の戦略的推進事業)」  p.37-38。総合科学研究所機関 研究(平成 28～31年度)成果。  p.88-90。総合科学研究所機関 研究(平成 28～令和元年度)成 果。  p.88-90。総合科学研究所機関 研究(平成 28～令和元年度)成 果。